

うえるかむ！にゃんこ

3～5人用/対象年齢5歳以上/プレイ時間15分

街に住むたくさんのにゃんこたちは、好きなごはんもいろいろです。あなたたちは5種類のごはんで、にゃんこたちをおもてなします。ライバルたちを出し抜いて、時にはなかよく分け合って！にゃんこたちを満足させて、にゃんこ気者を目指しましょう！

ゲームの目的

他のプレイヤーと狙いが被らないようにごはんカードを出して、にゃんこたちをおもてなして(集めて)いきましょう！たくさんのにゃんこを集めて、最も高得点を得たプレイヤーが勝者です。同じ種類のにゃんこをたくさん集めたり、すべての種類のにゃんこを集めたりするとボーナス得点がもらえます。

このゲームの内容物

- ソロにゃんこカード(1点) : 40枚 (しろ(白)10枚、ミケ(青)8枚、ハチワレ(黒)8枚、茶トラ(赤)8枚、キジトラ(緑)6枚)
- ペアにゃんこカード(2点) : 10枚 (各色2枚ずつ)
- かぞくにゃんこカード(3点) : 5枚 (各色1枚ずつ)
- くろにゃんこカード(2点) : 5枚
- ごはんカード : 25枚 (各色5枚ずつ)
- 最多賞ボーナスカード : 5枚 (各色1枚ずつ)
- 5色ボーナスカード : 5枚

ゲームの流れ

このゲームは8ラウンドからなります。各ラウンドでは、次の1～4を順に行います。

1. カードをめくる

山札からにゃんこカードを7枚めくり、場に並べます。

2. 使うごはんを選ぶ

各プレイヤーは、おもてなししたいにゃんこが好きなごはんカードを1枚選び、裏向きで場に出します。

全員のごはんカードが出揃ったら一斉に表にします。

3. にゃんこたちをおもてなしする (にゃんこカードの獲得)

にゃんこの色ごとに、そのにゃんこたちをおもてなしする(カードを獲得する)プレイヤーを判定します。

獲得したにゃんこカードは、色ごとに分けて、全員に見えるように手元に表にして置きます。

- a. 誰も好きなごはんを出されなかったにゃんこ
→ そのまま場に残ります。
- b. 好きなごはんを1人だけに出されたにゃんこ
→ そのごはんカードを出したプレイヤーが、そのにゃんこカードを全て獲得します。
- c. 好きなごはんを2人以上に出されたにゃんこ
→ そのごはんカードを出したプレイヤー全員で、にゃんこカードを平等に分けて獲得します(詳しくは5～6ページ)。

4. ごはんカードを戻す

このラウンドで使用したごはんカードを手元に戻します。次以降のラウンドでも、同じごはんカードを使うことができます。

このゲームの内容物 (つづき)



ゲームの準備

1. 全てのソロにゃんこカード、ペアにゃんこカード、かぞくにゃんこカードと、くろにゃんこカード1枚をシャッフルして、裏向きに重ねて山札にします。これらのカードは、まとめて単に「にゃんこカード」とも呼びます。
2. 余ったくろにゃんこカードは山札の隣に置きます。
3. 各プレイヤーは、5種類のごはんカードを1枚ずつ持ち、余ったごはんカードは箱にしまします。

ゲームの流れ (つづき)

くろにゃんこのおもてなし (特別なにゃんこ)

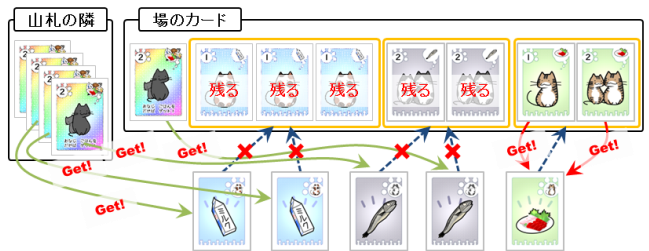
くろにゃんこは1度だけ登場する特別なにゃんこです。くろにゃんこをおもてなしするには、どの種類でもよいので、他のプレイヤーと同じごはんを出す必要があります。

くろにゃんこカードが場にいるときに、2人以上が同じごはんカードを出した場合、その全員が場のくろにゃんこカードと山札の隣に置いてあるくろにゃんこカードを使って、1枚ずつくろにゃんこカードだけを獲得します。このとき、本来そのごはんでおもてなしできる、「出したごはんが好きなにゃんこ」をおもてなしすることはできず、それらは全て場に残ります(下図参照)。

全員が別々のごはんカードを出した場合、くろにゃんこは場に残り、次以降のラウンドで2人以上が同じごはんカードを出した時に、その全員が獲得します。

くろにゃんこは、ゲーム終了時に、好きな種類のにゃんことして扱うことができます。ゲームが終わるまでは、どの種類のにゃんことして扱うかを決める必要はありません(詳しくは7ページ)。

例: 下図の場合、ミルクカードとにぼしカードを出した4人がくろにゃんこカードを獲得します。そのかわり、ミケにゃんこハチワレにゃんこはすべて場に残ります。

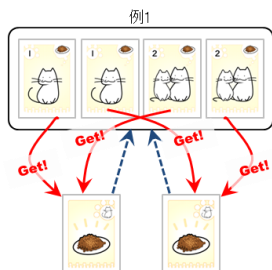


ゲームの流れ (つづき)

好きなごはんを2人以上に出されたにゃんこの分け方

ルール1: **枚数と得点**の両方が同じになるように分けます。
 ルール2: 分けられない場合や、あまりが出る場合は、そのカードだけ場に残ります。

ルール1の例) 2枚のソロしろカードと2枚のペアしろカードに対して、2人がかりかりカードを出した場合、それぞれがソロしろカードとペアしろカードを1枚ずつ獲得します。



ルール2の例1) 1枚のペア茶トラカードに対して、2人がネコ缶カードを出した場合、分けられないのでどちらもカードを獲得できず、カードは場に残ります。

ルール2の例2) 2枚のソロハチワレカードと1枚のペアハチワレカードに対して、3人がにぼしカードを出した場合、誰もカードを獲得できず、全てのカードが場に残ります(誰かがペアカードを獲得すると、枚数は平等になるが得点が平等にならない)。

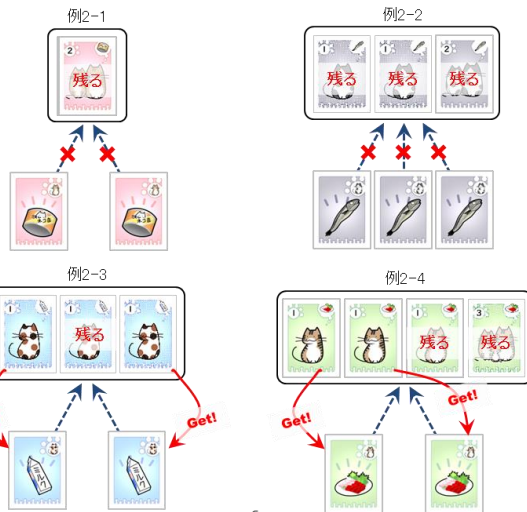
5

ゲームの流れ (つづき)

好きなごはんを2人以上に出されたにゃんこの分け方

ルール2の例3) 3枚のソロミケカードに対して2人がミルクカードを出した場合、それぞれ1枚ずつ獲得し、あまりの1枚が場に残ります。

ルール2の例4) 3枚のソロキジトラカードと1枚のかぞくキジトラカードに対して、2人がおさしみカードを出した場合は、それぞれ1枚のソロキジトラカードを獲得し、あまるソロキジトラカード1枚とキジトラかぞくカードが場に残ります(かぞくカードとソロカード3枚に分けると、点数は平等になるが枚数が平等にならない)。



6

ゲームの終了

山札がなくなったら、そのラウンド(8ラウンド目)まで同じようにプレイし、そこでゲーム終了です。最後まで場に残ったにゃんこカードは、そのまま残ります。その後、得点計算に移ります。

得点の計算

- くろにゃんこカードを持っているプレイヤーは、くろにゃんこをどの色として数えるかを決めて、同時に発表します。くろにゃんこカードは、手持ちの好きな色のにゃんこカードとして数えます。
 ※くろにゃんこは、手持ちにいない色のにゃんことして数えることはできません。
- 獲得したカードに書かれている点数すべてを合計します。ソロにゃんこカードは1枚1点、ペアにゃんこカードとくろにゃんこカードは1枚2点、かぞくにゃんこカードは1枚3点です。
- それぞれの色ごとに、最も多くのにゃんこカードを集めたプレイヤーは、最多賞ボーナスカード(3点)を獲得します。
 ※得点ではなく、カードの枚数で判定します。
 ※同じ枚数の人がいた場合、全員がボーナスを獲得します。最多賞ボーナスカードは1枚しか入っていないので、別のカードやチップ等で代用してください。
- 全ての色のにゃんこを1枚ずつ集めたプレイヤーは、1セット(5つの色のにゃんこカード1枚ずつ)ごとに全色ボーナスカード(3点)を獲得します。くろにゃんこカードも、1. で選んだ色のにゃんこカードとして扱います。
 ※全色ボーナスカードは5枚しか入っていないので、足りない場合は別のカードやチップ等で代用してください。

合計得点が一番高い人が勝者です!

同点の場合、獲得したカードの総枚数が多い人を勝者としてします。それも同じ場合、勝利を分かち合います!

7

得点計算の例



ボーナス: ハチワレにゃんこ5枚(くろにゃんこを含む)で最多賞、全色セットが1セット

得点 = 16(カードの点数) + 3(最多賞1種類) + 3(全色1セット) = 22点

おまけルール

ゲームに慣れてきたら、次のルールを採用すると、より戦略性の高いゲームが楽しめます。

① 去っていくにゃんこたち

「にゃんこたちをおもてなしする」ステップの後、場に同じ色のにゃんこカードが4枚以上残っている時、そのカードを全て場から取り除きます(おもてなしされなかったにゃんこたちは、悲しくなって立ち去ってしまうのです)。これらのカードはこのゲームではもう使われません。

② もっと特別なくろにゃんこ

得点の計算をするとき、くろにゃんこカードを「ある色のにゃんこカード1枚分(2点×1枚)」としてではなく、「ある色のにゃんこカード2枚分(1点×2枚)」として計算します。基本点は変わりませんが、各ボーナス点への影響が大きくなります。

L.A.G.Craft (@l_a_g_craft)

ゲームデザイン
 アカシロ (@KranichSpiele)
 みどうさ (@St_Usagi)

アートワーク
 Akisa (@akisayasitake)

スペシャルサンクス
 Booksながしま
 あきら(あそぼうや)



2018年11月25日 初版頒布
 (ゲームマーケット2018秋)

2019年 5月25日 第2版頒布
 (ゲームマーケット2019春)

印刷: 株式会社ポプルス様(箱及びカード)
 株式会社プリントバック様(説明書)

8